



春のサンクチュアリセンター上空からの写真です。センター右側のラムサール記念公園の桜は4月中旬に満開となりました。沼の岸边では、賑やかな鳥のさえずりや、コイ・フナの産卵が始まっています。

**Vol.143**  
令和4年度5月号

## 水生植物園が変わりました



見通しの良い散策路



2箇所の池に観察用の棧橋



観察湿地に延長150mの水路

水生植物園では、劣化して立入禁止となっていた木道の一部を撤去し、新たな散策路を設置しました。また、2箇所の池に観察用の棧橋を新設し、アサザやミズユキノシタなどの水生植物を間近に観察できるようになりました。さらに、観察湿地に延長150mの水路を掘り、水生植物を植栽しました。今年も引き続き木道の改修工事等を行う予定です。

## まもなくカキツバタが見頃ごろを迎えます

かつての伊豆沼・内沼とその周りには広大な湿原が存在し、カキツバタなどの湿生植物が生育していました。しかし、開発の進行などによる湿原の減少と共に、そこに住む湿生植物も減少してしまいました。当財団では、このような希少な湿生植物を水生植物園内の湿地に移植し、増やしています。ゴールデンウィーク頃からは、カキツバタの花が見頃を迎えます。ぜひ一度ご来園頂き、伊豆沼・内沼の自然に親しんで頂ければ幸いです。



# 電気ショッカーボート外来魚駆除を実施します。

今年も、電気ショッカーボートによる外来魚（オオクチバス・ブルーギル等）駆除を4月下旬から6月上旬まで実施します。長年取り組んできた駆除活動によって、モツゴやタモロコ、コイ、フナ、エビなどが回復傾向にあります。また、ここ最近になって、希少なゼニタナゴも確認されようになり、これまでの駆除活動の成果が見えてきました。これからも、伊豆沼・内沼の外来魚駆除活動を実施し、環境保全活動に努めてまいりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。



## バス・バスターズ 活動再開します！



コロナ渦で2年間活動休止していたバス・バスターズ。今年は活動を再開いたします。皆さま方の長年のご協力により、沼のオオクチバスはかなり少ない状況となっています。しかし、いつ繁殖するかわからない危険性があるため、引き続きバス・バスターズの活動によって繁殖を抑制したいと思います。コロナ対策を取った上での実施となりますので、皆さま方のご協力をお願いいたします。

皆さま方の参加をお待ちしています！

## 野火後の清掃を行いました

毎年野火後に財団職員によるゴミ拾いを実施しています。集まったゴミは缶や瓶、プラスチック製品など、ゴミの量は昨年と同程度となっています。



毎年拾ってもゴミの量は減りません！

## コブハクチョウ



ガンカモ類の渡りがすっかり終わった4月、ときどきハクチョウが姿を見せます。よく見ると、額に瘤があります。これはコブハクチョウと呼ばれる外来種です。もともとは観賞用に導入されましたが、野外での繁殖が増え、中には渡りをするものもいます。伊豆沼には、この渡りの途中に立ち寄るものと思われ、しばらくすると姿を消します。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷17-2  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217  
ホームページ:<http://izunuma.org/>  
E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

